



冬季オリンピック開催！Part II 主催国の喫煙事情

今平昌大会は、去る2月9日から華々しく始まり、北朝鮮チームの参加・合同チームなどの話題をもたらしました。今月号が出るあたりには、各国のメダル獲得数も決まっているでしょうが、やはり私たちが意識するのは再来年に迫った東京五輪です。

そこで気になるのは開催国の喫煙対策。そもそもIOC(国際オリンピック委員会)は、「たばこのない五輪」を目指しており、直近の開催地における飲食店などの屋内施設を全面禁煙にしました。ロシアもソチ五輪をきっかけに、屋内全面禁止になったようですね。

現在WHO(世界保健機関)は、8カ所(医療機関、学校、交通機関など)全てで全面禁煙しているのを最高レベルとして、以下4段階で各国を分類しております。最高ランクで評価されているのは、英国はじめカナダ、ロシアなどの55か国。現時点の日本はどうかと言うと、受動喫煙対策を事業者の努力義務としているので、最低レベルに位置しております。

今般、国会でも「健康増進法改正案」が提示されて、喫煙対策を講じようとしておりますが、これが成立しても、残念ながら最低レベルから1ランク上がるだけです。これでは、IOCや諸外国からして、我が国の本気度が感じられないと指摘されても仕方ありません。ならば東京都条例の設置でさらに禁煙推進を図れば...、それこそ小池知事の意気込みは如何に。

【世界の受動喫煙の規制状況】

	日本 (東京)	韓国 (平昌)	ドイツ (ベルリン)	中国 (北京)	米国 (ニューヨーク)	英国 (ロンドン)	ロシア (ソチ)
医療機関	×	×	×	×	×	×	×
小中高校	×	×	×	×	×	×	×
職場	△	△	△	×	×	×	×
ホテル・旅館	△	△	△	×	×	×	×
飲食店	△	△	△	×	×	×	×

(注) ×は敷地内禁煙または屋内禁煙、△は屋内での喫煙が一部か。

日本については、今政府案が施行された場合を想定して、厚労省から提示されている資料を基に作成。

※ 平成30年1月30日付、日経新聞からの記事を抜粋。

今月の

水戸まさし応援団

「人生百歳時代」

人生百歳時代の到来といわれ、老後が随分と長くなるようだ。高齢者の定義を現在の65歳から75歳に引上げる動きや、公的年金の受給開始年齢の再延長も協議中という。

企業は先行き不透明だから、設備投資を控え内部保留し、個人は将来が不安だから、老後に備え金融資産を貯蓄する。企業も個人もお金を使わず貯めるので、市場にお金が出回らず景気は一向に良くならない。将来が安心できれば、景気は自ずと良くなると思う。

日本人の平均貯蓄額は一八二十万円というが、平均は必ずしも普通を示すものではなく、平均が多数派を表してはいない。貯蓄できるのは一部で、日本人の2〜3は平均以下だといひ、貧富の格差は益々広がっているようだ。貧困層が増えれば、それは健康格差、教育格差にも繋がっていく。消費低迷、貧富格差問題などはまさに政治の責任ではないか。

Mチームが水戸将史さんを応援するのは、今後の日本の進むべき方向を定め、困難な時期における政治家としての責務を立派に果たす人だと信じているから。市民のそして地域の声を大切にす水戸さんに対し、これからもエールを送っていこう。

水戸応援団

Mチーム 益田 正廣

◆事務所

〒245-0008

横浜市泉区弥生台26-6

TEL: 045-814-3001 FAX: 045-814-3007

メール: kickoff310@gmail.com

◆HP: <https://www.kickoff310.com/>

◆Face Book: 「水戸将史」で検索

◆Twitter: @mito_kickoff

◆メルマガ: 登録はHPから